

平成29年度 第1回新潟東警察署協議会議事概要

開催日時	平成29年10月31日(火) 午後3時30分から午後5時30分まで		
開催場所	新潟東警察署講堂		
出席者	公安委員会	津野公安委員	
	委員 (定数11人)	金子会長 渡辺副会長 五十嵐委員 石黒委員 江川委員 小島委員 小林委員 笹川委員 佐藤委員 夏目委員 山作委員 (会長・副会長以下50音順)	計11人
	警察	佐藤署長 落合副署長 角張会計官 嶋貫警務課長 星野留置管理課長 岡崎生活安全課長 尾崎地域課長 小俣刑事課長 梨本交通課長 大滝警備課長 警務係長	計11人

委員の委嘱

津野公安委員から、それぞれの委員に委嘱状を交付した。

新潟東警察署協議会会則の採択

新潟東警察署協議会会則案を承認した。

公安委員、署長挨拶

津野公安委員から、「委員の皆様のかたの意見を受けた中で、この地域の安全のために一緒に手を携えて進めていければと思っている。」旨の挨拶があった。

佐藤署長から、「署員200人一丸となり、今まで以上に地域内の安心感が高まるように、委員の皆様からの御提言を業務に反映させて、各種活動を積極的に展開することとしているので、今後とも御支援、御協力をお願いしたい。」旨の挨拶があった。

会長、副会長の選出と会長挨拶

金子委員を会長に、渡辺委員を副会長に選出した。

金子会長から、「治安の維持に、私ども地域として直接力添えができればと思っている。」旨の挨拶があった。

管内の治安情勢

署長から、平成29年9月末現在の管内の治安情勢等について、資料に基づき説明があった。

速度等取締り指針の策定

交通課長から、交通事故発生実態に合わせた速度等取締りを実施する旨の説明があり、了承した。

諮問

署長から、当面の重点推進事項について次のとおり諮問があった。

1 特殊詐欺被害防止対策の推進

金融機関等の協力により被害を水際で防いでいるものの、特殊詐欺被害が根絶できていない情勢であるため、関係機関と連携の上、防止対策を推進する。

2 高齢者の交通事故抑止対策の推進

昨年の東区の交通死亡事故は3人とも65歳以上の高齢者であったことから、高齢者を重点とした事故抑止対策を推進する。

諮問に対する意見・質疑等（○は署長等の説明）

1 高齢者が事故を起こす場合もあるが、その対策はどういうものか。

- 本年の人身事故では、
高齢者被害が35.9パーセント
高齢者加害事故が24.1パーセント
です。
赤ランプによるパトロール、夜光反射材の直接貼付活動など様々な活動を実施しています。

2 最近高齢者が免許を自主返納する活動があるがいかがか。

- 詳しい数字を用意していませんが、連日高齢者の免許返納があります。9月1日の開署日には9人ほどが免許を返納し、県下でも返納率が高いと思われます。
また、中山間地では、代替手段の確保が難しいためなかなか返納ができない場合もありますが、新潟市はバスなどの交通網が発達していますので、運転に自信のない方は、自治体による優遇制度等のメリットもありますので積極的に返納することを社会全体で考えていかなければならないと思います。

答申

新潟東警察署協議会として協議、検討した結果、諮問のとおり推進するよう答申した。

意見・要望・質疑等（○は署長等の説明）

1 自転車も自動車同様にマナーが必要だと思うが、自転車乗りに対する指導状況はいかがか。また、高齢者の自転車の乗り方についてはいかがか。

- 本年9月末現在の交通事故245件中、高齢者の自転車事故が8件、自転車に関連する事故が44件発生しています。特に薄暮時間帯における高齢者に対する指導、

夜光反射材の直接貼付、自転車乗りに対する積極的な声掛けなどに取り組みます。

2 最近若者のスケートボードをよく見かける。車道や歩道で乗っていて危ないと思うこともあるが、相談などが寄せられていないか。

- かなりの苦情が寄せられています。最近では、大形駅、越後石山駅のロータリーで若者がスケートボードに乗って危険だと苦情があります。これまでは、違反として明文化されたものはありませんでしたが、新潟市では、スケートボードを迷惑が掛かるところでははならないという条例ができました。しかし、これも罰則規定はありません。現在の対応としては、苦情があった場合、その都度警察官が現場に行って指導警告し、解散させています。公道であれば状況に応じた対応をしています。是非110番通報でも結構ですので通報いただきたい。

3 国道113号の横断歩道で見守り活動をしている。百数十名の子供たちが狭い歩道を通るが、歩道の真ん中に電柱が立っていて、傘を差すと通りにくい。10年近く東区役所、東北電力に働き掛けているがなかなか改修が行われない。

- 市道であれば市の管理権に基づき、設置者の意見を聞きながら現場確認し、対処させていただきます。

4 SNSの被害が多いと聞くが、管内でも相談はあるのか。

- スマートフォンの普及により、SNSが急速に発達し、それに絡む相談が非常に多くなっているのが現状です。実際に、東区の子供たちが、大人とやりとりをして被害に遭ったという話があります。学校でスマートフォンの使い方を指導してもらっていますし、最近は警察でも子供たちや保護者に話をさせてもらう機会もあります。また、携帯電話会社にも、原則子供が持つ携帯電話はフィルタリングをかけるようお願いしています。

5 保護者や生徒たちにスマートフォンの使い方を警察が説明してくれることを初めて知った。良い取組であると思った。

6 職場でクレーマーに悩まされており、警察署へ相談したこともあるが、相談の内容によって、上司へ報告したり、しなかったりするの。相談に対する情報共有の体制はどうなっているのか。

- 全件9月で373件という相談を受けていますが、相談の関係については全て署長まで報告しています。相談窓口や交番などどこで相談をしても、署として情報共有を図り、一貫した対応をするようにしています。

7 スクールゾーン30の整備を進めてもらいたい。

- ゾーン30とスクールゾーンは別物です。ゾーン30は、その区域全部を30キロ規制にするということですが、9月1日に開署したばかりなので、新しい視点で規制する場所の検討に入っています。

8 横断歩道や路側帯の白い線を引く基準はあるのか。

- 横断歩道は、実際に現地を見て、歩行者が横断を待つ待機場所があるのか、地権者の同意があるのかなどを確認して設置するという流れになります。

9 大都市に比べると防犯カメラの設置が遅れているのではない。設置の方向性を教えてほしい。

- 防犯カメラについては、新潟県犯罪のない安全で安心なまちづくり条例の中に設置の方針があります。県警察が実施した「県民の意識調査」の結果によれば、防犯カメラの設置には肯定的な意見が多いです。犯人を捕まえるだけでなく、犯罪を未然に防止する効果もありますので、警察としては、いろいろなところに設置して安全安心感を高めたいのですが予算の問題もあります。最近では、町内会や自治会が市、県の補助金で設置しているものもあります。

公安委員講評

津野公安委員から、「長時間にわたり、活発な御意見、御審議に感謝する。新潟東署ができ、パトカーや各交番の勤務員も活気づいて、よく見掛けるようになり、安心感と抑止効果があがった。

今日の協議会の中で、キーワードはやはり高齢者であると感じた。また、情報化の進歩により、SNSなどに関連する事案が増えている。

協議会の皆様は、地域を代表する方であり、それぞれの立場で多岐にわたる分野で活躍されておりますので、警察の取組について説明を聞きながら、その中で何ができるのか、今後も一緒に考えていただきたい。」旨の講評があった。